

上川スライド30

とさんこ
アウトメディア
プロジェクト

【目的】

上川管内の子どもたちが抱える、テレビやゲーム機、スマートフォン等の電子メディアに接する時間が長く、家庭学習時間が短いといった課題の解決に向け、家庭での電子メディア接触時間を見直すとともに、家庭学習を推奨し、子どもたちの望ましい生活習慣の定着及び学力の向上を図ることを目的としています。

◆平成29年度の取組

中富良野町【実施主体：教育委員会】

◆事前の取組

- 教育委員会が主体となって実施したことから、様々な機関（学校、PTA 連合会、学社融合推進会議等）への周知や連携をスムーズに行うことができた。

◇実施時期及び参加者

- 夏季休業期間中と冬季休業期間中に実施した。
- 町P連と連携し、保護者向け講演会として実施した。PTA をはじめ、地域住民や教員、教育委員会職員等 70 名が参加した。

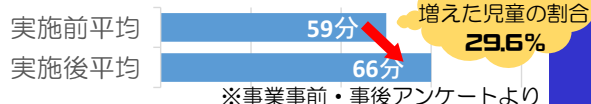
◎事後の取組

- 講演を聞いた保護者から「子どもにも聞かせたい」という声があがり、後日、中学生を対象とした講演会を実施した。
- 中富良野中学校として、学校独自で手帳を導入した。（※帰宅後の過ごし方や宿題、就寝時間等を毎日記入するもの。）

テレビ視聴時間（中学生）



家庭学習時間（中学生）



旭川第二小学校【実施主体：学校】

◆事前の取組

- PTA に対して丁寧に説明を行ったことにより、講演会の必要性について、多くの保護者から理解を得ることができた。

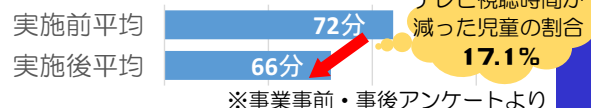
◇実施時期

- 10月と11月に実施した。

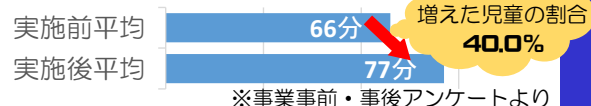
◎事後の取組

- 当初は一度きりの実施予定であったが、保護者や教員からの要望があり、期間を延長して実施した。
- 対象や方法について再検討の必要はあるものの、電子メディアの接触時間に対する関心を高める効果があった。

テレビ視聴時間（小学生）



家庭学習時間（小学生）



【事業後のアンケートより】※一部抜粋

- ◆子どもが電子メディア接触時間について意識をもつだけでテレビを見る時間が減り、効果的だったと思います。
- ◆毎日の習慣を身に付けるには良い方法だと思います。是非続けてください。
- ◆ゲームのように時間のことを考えて勉強するようになりました。
- ◆こうした取組は、家庭だけでは難しいと感じていたので、学校として取り組んでいただけたのはありがたかったです。今後も続けて欲しいと思います。

【講演会アンケートより】※一部抜粋

- ◆子どもが中学生なので、本人に任せ、もう大人はうるさいことを言わないと思っていましたが、やはりもう一度考え直さなければと思いました。私が勉強しなおすいい講演会になりました。
- ◆講演の内容を家族に伝えます。機会があるたびに話題に上げることが大切だと思いました。
- ◆自分が子どもと一緒に過ごす時間の過ごし方（携帯・テレビを制限する等）を見直そうと思います。保護者や生徒への情報提供が必要だと感じました。